



①

1.フェイスはダイナミックなディープコンケイブ形状。直線と鋭角のみで構成されたスポークなのだが、ディレクション形状となるのも独特。開口部が広くて足長、大口径感も強い。2.キレ味鋭いスポークは先端へ向かうにつれて細くなり、さらに先端のアンダーカットで軽快さや躍動感を強く重らせる。スポークサイドはステップ形状。シンプルだが立体感も大。3.ミドルコンケイブディスクであっても深さを可能な限り稼げるよう、断面形状で立体感を強めるなど工夫を凝らしたセンターパート。シンプルで高品位なオーナメントが大人の。



②

③

ワイドでも、激ツラ。

グノーシスというホイールブランドは、
そもそもが海外志向。
国産ではあるが本質は輸入車用で
当然、メルセデスにもよく似合う。
ハードなカスタムを施した仕様でも、
グノーシスなら対応、可。

PRICE LIST	20x10.0	13万2000円
	20x12.5	13万7500円

※各装着サイズ別バフフィニッシュの場合



プラストが製作したAMG GT S。ポーランドのカルポネール製となるワイドフェンダーのフルキットを装着し、片側約10cmのワイド化を果たした。「ミリ単位のオーダーインセットを駆使すればこんな仕様も実現可能です」。



がそのコンセプト。どこまでもシャープなラインで描かれるその作品たちは、コンケイブでもあり、躍動感が満点だ。そんなグノーシスの中でも極限までのシンプルさにこだわったモデルが、このグノーシスCVS。10本のスポークは先端へ向かうにつれてより細く、シャープに。鋭角と直線で構成されているのだが、そのスポークの発進点をホイールセンターからズラすことで、他にはないエッジなディレクション形状を実現しているのも精悍だ。さらにフェイスは大胆なコンケイブ形状。スポークエンド先端にはアンダーカットを採用するなど、シンプルながらも動きが強く、奥行き感もたっぷりだ。またマルチピース構造で、カスタムの選択肢を幅広く持つのもグノーシスの強み。カラーチェンジやリムアレンジで自分だけのフィニッシュを手に入れることもできるし、オーダーインセットで履かせ方にこだわることも可だ。そんなグノーシスCVSを、ポー

ランドのカルポネール製ワイドフェンダーキットで武装したAMG GT Sにマッチングさせてきたのが東京のプロショップ、プラスト。片側約10cmのワイド化が果たされた迫力のシルエットにも、CVSはピッタリとツラで収まっている。プラスト自身のマッチングノウハウが豊富なこともその要因ではあるが、グノーシスならサイズバリエーションも多彩で、しかもミリ単位でのオーダーインセットが可能だからこそ実現できたのがこのコーディネート。ワイドフェンダー化などのディープなカスタムを施していたとしてもグノーシスならご覧の通り、ガチハマリできるのだ。装着しているのはバフフィニッシュで、標準設定色はこれを含む全5色と多彩。コンケイブフェイスもミドル、ディープの2種類が設定されるため、理想の姿を追求しやすい。シンプルスポーツの極み的一本だ。

カスタム幅の広さも持ち合わせた躍動感あふれる精悍マルチピース

輸入車を対象となるP・C・D。を標準で設定するグノーシスは、確かに国産ホイールではあるが、誕生当初から輸入車用をうたってきた。今こそ輸入車に国産ホイールという選択肢は増えてきたが、当時はそれがほぼない時代。つまりグノーシスは輸入車用国産マルチピースの先駆者的存在で、豊富な実績とノウハウを有するからこそ、メルセデスの足元を安全面からも機能面でも安心して任せられる。メルセデスでカスタムを楽しむのであれば、これ以上ないほどの信頼を備えるブランドだ。

そんなグノーシスの特徴は、圧倒的なビレット感。あくまでも鍛造ホイールブランドなのだが、鍛造であってもいわゆるアメ鍛風でエッジ感のあるデザインを追求し、シンプルでスマートな大人の強いデザインを生み出すの

GNOSIS

CVS

